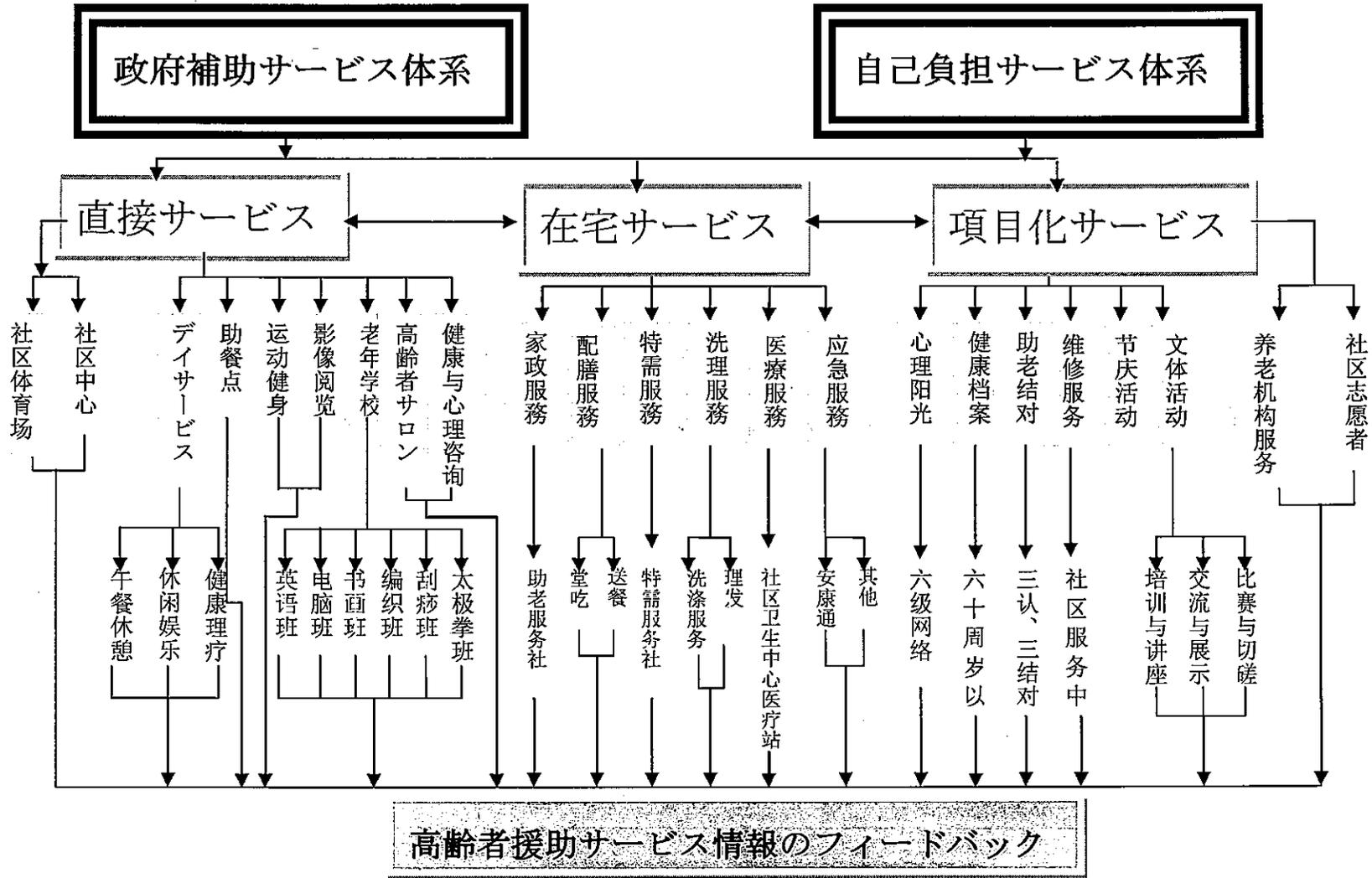
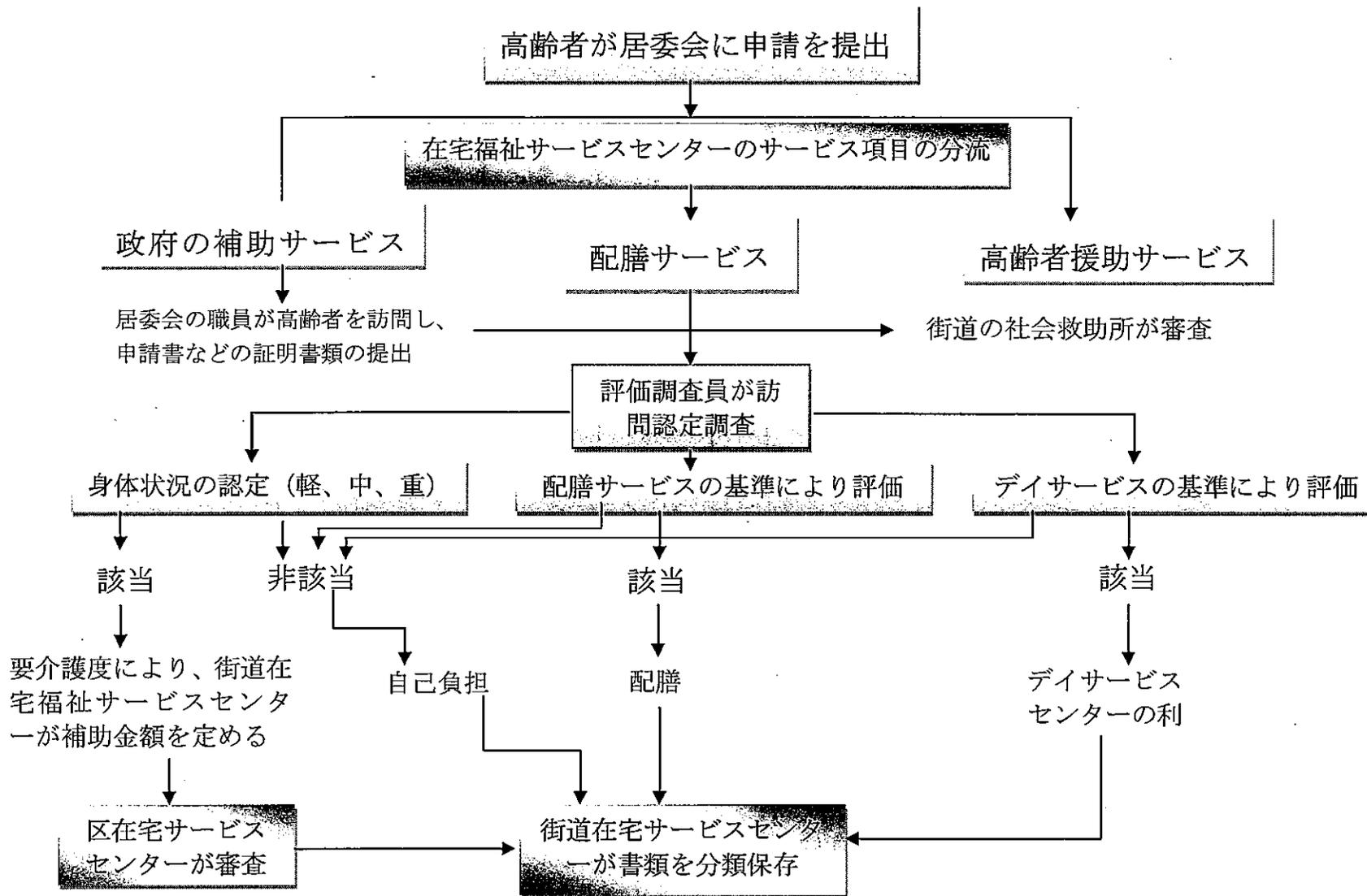


高齢者援助サービスセンターのサービス項目及び流れ



康健街道在宅サービスの評価（認定）体系



高齢者援助サービスセンターの機能

管理部

高齢者援助サービスのための情報収集、調査研究及び統計。

高齢者援助サービスの人的資源をサービスあらゆる資源の配分・管理。

在宅福祉サービス

1. 特殊サービス

対象者：1人暮らしの高齢者や特殊の困難がある高齢者

内 容：精神面の慰め、訪問、電話慰問、予約、診察同行、買物同行等

2. 高齢者援助サービス

対象者：政府補助の利用者且つ在宅福祉サービスの評価基準に適する高齢者

内 容：ワーカーの訪問サービス

3. 配膳

配食センター

康健配食センター

配膳ポスト（食堂での食事）

第一福利院

その他（上海師範大学の食堂等）

配膳ポスト（食事の配送）

徐匯区第一福利院

工匯高齢者アパート

康健敬老院

4.在宅福祉サービスの政府補助券

5.70歳以上の高齢者の優遇証明

6.緊急通報システム設置の申請

デイサービス

（在宅福祉サービスの評価条件に該当する必要がある）

カウンセリング・サービス

心理に関するカウンセリング

法律に関するカウンセリング

中高齢者の健康に関するカウンセリング

高齢者教育サービス

1.高齢者学校

2.映画鑑賞

3.医療保健、美容、書道・絵画、科学生活などに関する講座

4.高齢者作品の展示

娯楽文化

健康な物理療法

高齢者の風采

ボランティアのサービス

血圧や身長などの測定

デイサービスセンター

利用の流れ

高齢者からの申請 → 認定調査 → 身体検査 → 関連の手続き → 利用の契約

サービスの理念

注意深い世話、人道的な管理、高齢者の参加、政府の配慮、人間性を基本とする

一日の流れ

- 08: 45-09: 15 来所、血圧の測定、健康状況の検査、体操
- 09: 15-10: 15 各活動（例えば新聞の閲読）
- 11: 00-12: 00 昼食
- 12: 00-14: 00 昼休み
- 14: 00-15: 00 編み物、伝統劇の鑑賞、演戯（滬劇、越劇等）
- 16: 30 帰宅

参考資料

康健街道の60歳以上高齢者は17,000人であり、総人口の23%を占める。そのうち、80歳以上の高齢者は3,000人であり、90歳以上は300人であり、100歳以上は14人である。

補助基準：軽 300 元/月（4500 円/月）、中 400 元/月（6000 円/月）、500 元/月（7500 円/月）

コミュニティ病院：新楽医院，医療ステーションは5か所

特殊サービス：40、50代の失業者（2000人）を招へいし、生活が困難な高齢者に特殊なサービスを提供する。

緊急通報システム（安康通）：90歳以上の高齢者のために無料で設置、他の高齢者は一年無料使用（その後10元（150円）/月の使用料）。

高齢者のために毎年無料で2回の健康検査を行う。

デイサービスセンター：基準に該当する高齢者のためにサービスを提供する。現在利用者は合計14人（男性2人、女性12人）。

最高齢は86歳で、最も若い人は68歳である。

利用料金：6元（90円）/食×22日+20元（300円）活動費=152元（2280円）。

三認、三結対：子女、マンションに住む同じ階の組長及びホームヘルパーと契約する。

配膳サービス：評価結果に基づいて、健康状況が良い高齢者は住宅に近い指定された食堂で食事する、外出困難な高齢者には食事を配送する。一般は昼食だけ配送するが、一部特殊な高齢者には夕食も配送する。しかし土日は食事を配送しない。配膳サービスは第一福利院及び高齢者施設が契約し、提供される。